

かわにし

議会だより

第133号

2018

4.15



川西町議会H.P
QRコード

巣立ちのとき

吉島小学校卒業式 P26に関連記事

シリーズ広聴

- こんな町になったらいいネ … 2
- 政策検証 課題多し さらなる努力を … 6
- 30年度予算 新庁舎建設を本格化 … 10
- 7議員が福祉など町政をただす … 18
- 議会改革 議員定数を14に … 32

こんな町になったら

いいネ

シリーズ
広聴
町が大好き
1



豊かなまちづくりに向け意見交換

女性が元気で活躍することが 町を元気にする — 商工会女性部

地方分権が一層進む中であって、自治体には自己決定、自己責任が求められている。まちづくりを進めるに当たって、政策決定過程への住民参加が不可欠とされている。
執行者である町長も、二元代表制の一翼を担う議会も、共に住民の意見を十分に聞き、政策に反映させる責務がある。
議会では、平成25年から地区に出向き、意見交

換会を開催しており、その意見をもとに毎年「政策提言」を行い、政策実現に向け着実に成果を上げていく。
今回は、広報広聴常任委員会で課題となっていた分野別や各種団体との意見交換会を実施することになり、第1回は町商工会女性部に登場をいただいた。まちづくりや行政・議会に望むことなど、幅広い貴重な意見を伺った。



高橋 冷子さん（女性部長・上小松）
正直屋を営む。通称ヤクルトおばちゃん。健康と笑顔をお届けして44年。商工会女性部長として部員の皆さんをまとめ、県女性部連合会の監事も務める。



粟野 順子さん（女性部副部長・美女木）
美女木にある三榎屋女将。昼はランチ（山里菜）、夜は各種宴会で川西町の地元産の食材を使い、美味しい料理を提供している。



島 貴政子さん（女性部副部長・中小松）
建設業（㈲豊材建設）を営む傍ら野菜作りにもいそしむ。女性部員の間では、美味しい煮物、漬物が評判。女性目線でのリフォーム等のアドバイスも行う。



渡部 裕子さん（女性部副部長・下小松）
縫製業（千歳産業㈱）を営み、もうすぐ50周年を迎える。主力はカットソー。総務と経理を担当。中国からの研修生も受け入れ、研修生の母親役も担う。

多くの意見を
町政に反映させたい

— 広聴企画の1回目

として、町商工会女性部の皆さんに出席をいただきました。議会では、町民の声を政策に反映させたいとして、毎年地区に出向いて意見交換会を開催しています。

今回は、団体の皆さんとの初めての意見交換会です。率直なご意見をお聞かせ下さい。まずは、自己紹介をお願いします。

高橋 意見交換会にご指名をいただき

ありがとうございます。私たちが女性一人ひとりが元気で活躍することが、町全体を元気にすることに思っています。私の仕事はヤクルト販売で、始めてから44年になりました。これも元気でいられた

からかなと思ってます。今日はよろしくお願ひします。

粟野 割烹「三榎屋」の女将です。いつもご利用ありがとうございます。今日はぜひかくの企画ですので日頃思っていることをお話しさせていただきますと思います。

島 家は中小松で建設業を営んでいます。川西に嫁いでからおよそ50年にもなり、川西の生活にどっぷり浸かっています。よろしくお願ひします。

渡部 大川で縫製業を営んでいます。

会社は、みなさんの助けを頂きながら、創業から間もなく50年になります。米沢から嫁ぎましたが、川西での生活のほうが長くなっしまいました。分らないことばかりですが、よろしくお願ひします。



高橋 冷子 さん

— それでは、みなさんから、町に望むこと、議会に望むこと、まちづくりで日頃感じていること、考えていることをお話しください。

細やかな雪対策を望みます

高橋 やさしい細やかな雪対策を望みます。児童、生徒、老人などの歩行者にやさしい対応を、例えば老人宅前の間口や歩道の除雪をきめ細やかにしていただ

きたいですね。少なくとも、老人宅前には大きな雪のかたまりを置かないような思いやりが欲しいなと思います。また交差点の見通しが悪くなる四つ角の隅切り、排雪を早めにしていただき事故防止、安全確保に努めていただきたいなと思います。

克雪対策について

— 豪雪地帯なので深刻な課題と受け止めています。

栗野 除雪車が行った後に固い雪が間

口に置かれることがありません。老人世帯には大変な作業となることから、何か目印を付けて固い雪を置かないようにできたらいいなと思います。

高橋

町の水道委員をしています。県企業局から原水を購入し給水していますが、責任水量までは余裕があると聞いています。その水を、側溝を活用して融雪に利用できないでしょうか。

専門的なことです

— 平成30年度から整備課 実需の水量とほぼ均衡がとれる給水量に見直されます。

子どもが遊べる場所づくりを

栗野 庁舎跡地利用と統合後の校舎の

活用についてお話しします。寒河江や天童などは、子どもの遊べる場所が充実しています。川西町でも庁舎の跡地や空き校舎に、屋内で子どもが遊べる場所を作ってはどうかと思います。子育てでできる環境を整えることで定住・移住にもつながると思います。

子どもの遊び場所

— 吉島に子育て支援センターがあり活用されています。

栗野

遠くからも来ることもできるよ。うな、冬でも安心して遊べる拠点にしてほしいです。子どもたちの声を聞き、子どもを大切にしている町にして頂きたいですね。

渡部

川西町で子どもを育てたいと言われるようにしたいですね。



栗野 順子 さん



渡部 裕子 さん

ほしいと思います。またダリヤ園との連携も必要です。

「森のマルシェ」

— 午後からの農産物の品揃えや冬期間の野菜不足などに課題があると思っています。産直施設は軌道に乗るまで5年間くらいを要するとされています。

渡部

小野川に卵を売っているお店があり、一箱1000円で飛ぶように売れています。森のマルシェでも何か目玉になる、よ

そこにはない魅力ある商品があったら良いと思います。

島貴

昨日森のマルシェに行って大根の茎葉の塩漬けという珍しいものを見てきました。ワラビやフキなどの塩漬けも喜ばれると思います。

川西町についてあるの

渡部

川西町の知名度が低いことを実感しています。ダリヤ園のほかにも、何か誇れるものを作りだし、例えば子育て支援、高齢者福祉などの政策や、自然景観などの町にないような特色を、PRしていただきたいと思っています。

— 知名度不足解消のため、川西町のPRがまだまだ必要です。自

治体が競うCM大賞に力を入れるのもいいですね。また東北中央自動車道福島米沢間開通に伴う観光誘客対策として案内看板なども重要です。

議会が率先して3010運動を

栗野

議員発議で「地酒で乾杯条例」を制定してから5年が経ち、しっかり定着しています。ただ料理の食べ残しが多いことが残念です。健康管理、

エコ活動の推進や食べ物を大切にするという観点から、乾杯後30分と、中締め前10分は料理を食べる時間とする3010運動を議会で推進していただきたいと思っています。

早速実行します。

— 今日、みなさんにたくさん提案を頂きました。議会の事務調査や政策提言を行う際に参考にさせていただきます。ありがとうございます。ありがとうございました。

シリーズ
広聴
町が大好き
1

こんな町になったらいいネ

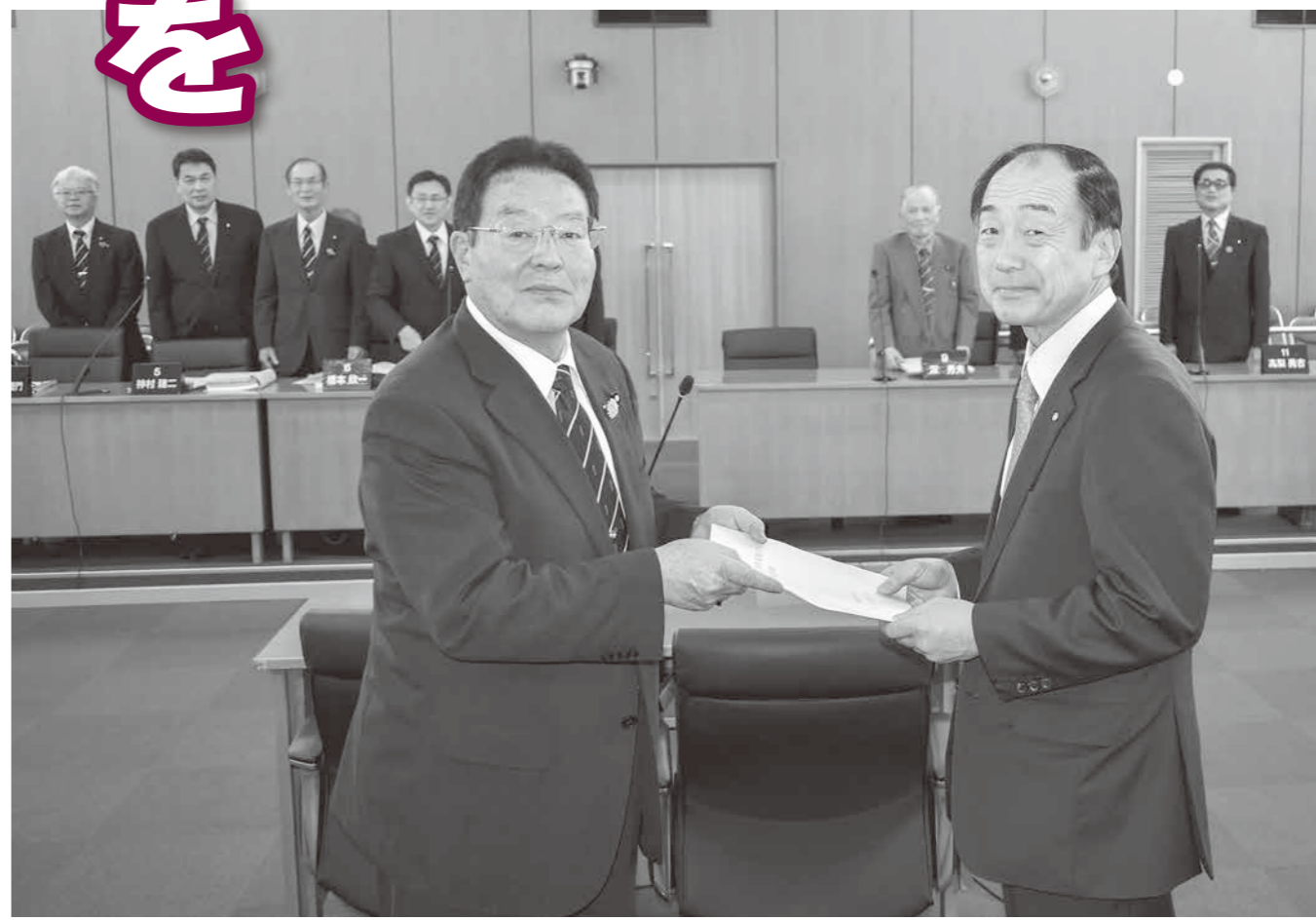
28年度政策検証

3月23日、定例会最終日に、平成28年度検証報告書が加藤議長から原田町長に手渡された。議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換会をもとに、町行政の施策の分析と討論を行った。これで28年度の「政策提言→検証→評価」は一サイクルが終了することになる。

4度目の政策検証となるが、実現した提言もあり、これまでと比較すると評価が上がったところもある。全体としては課題も多く、一層の努力を求める内容となった

課題多し

さらなる努力を



町の発展に向け検証評価を町長へ

検証と評価は議会基本条例に定めがなく、先進事例も少ないため川西町議会が全国に先がけてその手法を考案し、改良・改善を重ねているもので、改善点があれば常に見直すことにしている。

具体的評価方法は28年12月の町長からの回答書をもとに、各常任委員会毎に検証を行っている。

1 提言

評価 定住促進対策

生活直結の課題を解消すべし

⑦将来にわたる政策などの効果およびコスト担当課から回答後1年の施策実施状況の聴き取りを行い、その後各議員が5段階評価を行う。全議員の平均点がその項目の評価となる。それぞれの評価基準は下表のようになる。評価基準日は、1月末日である。

政策検証評価の基準

- A** 必要な取り組みを着実に実施、その結果、目標達成ないしほぼ達成
- B** 必要な取り組みを着実に実施、その結果、達成に向けて具体的成果が見られる
- C** 必要な取り組みをおおむね実施、その結果、一定の成果が見られ始めている
- D** 必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている
- E** 取り組みに向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である



交通弱者、買い物困難者解消に向けて

提言(1)の①交通弱者(高齢者、高校生等)の解消、買い物困難者対策として、デマンドタクシー等交通手段の制度改善、利用拡大を図ること。③高齢者および移住者世帯の、除雪、排雪対策の充実を図ること。⑤若者の出会いの場づくりに積極的に取り組むこと―はC評価となった。

②18歳以下の医療費無料化と、義務教育に係る制服、運動着、給食等の無償化を実現すること。④福祉、子育て、住宅、除雪、移住及び産業振興等、町が行う支援をすべて網羅した「町民生活支援ガイドブック(仮称)」を作成すること―はB評価となった。

高齢者の交通の確保では、デマンドの当日予約や町外への延長への進化を要望。雪対策は丁寧な対応をのぞみ、若者の出会いの場づくりはより積極的な施策を求めた。18歳以下の医療費無料化を評価。制服、給食費無料化は実現できていないことから、さらなる検討を求めている。

メディカルタウン構想の 着実な進展を

提言 **2**



公立置賜総合病院周辺、メディカルタウンに

① 中学校の学力日本一を目指すこと―はC評価となった。

学習支援員の配置、英語検定料（3級以上）の補助、英語アドバイザーの活用など、学力向上に向けて各種事業に取り組んだことは評価できる。

学習指導員等の増員により教員の多忙化を緩和し、一人ひとりの生徒に寄り添い、充実

した教育を望む。

② 公立置賜総合病院周辺の開発促進並びに全町的な地域づくり推進を図ること―はC評価となった。

「公立置賜総合病院周辺整備基本計画・実施計画」（メディカルタウン構想）を策定したことや、民間事業者の誘致、開発計画の作成を進めていることは評価できる。

提言 **3**

評価 雇用の場の確保

企業誘致で 地域活性化を

① 企業誘致を強化、継続すること。② 人材育成に努め、起業の支援に取り組むこと。③ 既存事業所に対する支援と、育成に努めること。④ 既存施設（空き校舎

等）活用による、農業研修生等の受け入れを図ること―はC評価となった。



トマトで地域活性化

尾長島地内にトマト菜園の誘致、生産開始ができたことは評価できる。企業誘致の取り組みを早期に取りまとめ、企業誘致の強化を図ることを望む。さらなるトップセールスが必要である。

起業支援ではクラウドファンディングなどの利用方法を提案しながら、起業家の呼び込みを含めた対応をすべきである。併せて産学官金労連携を進めること。

「川西町製造業ガイドブック」の発行は評価する。地域おこし協力隊員4名が地域の農業法人等の受け入れ支援のもと、地域の空き家を活用し研修を積んでいることは評価できる。

提言 **4**

評価 福祉の充実

若者の要望を 大胆に取り入れるべき

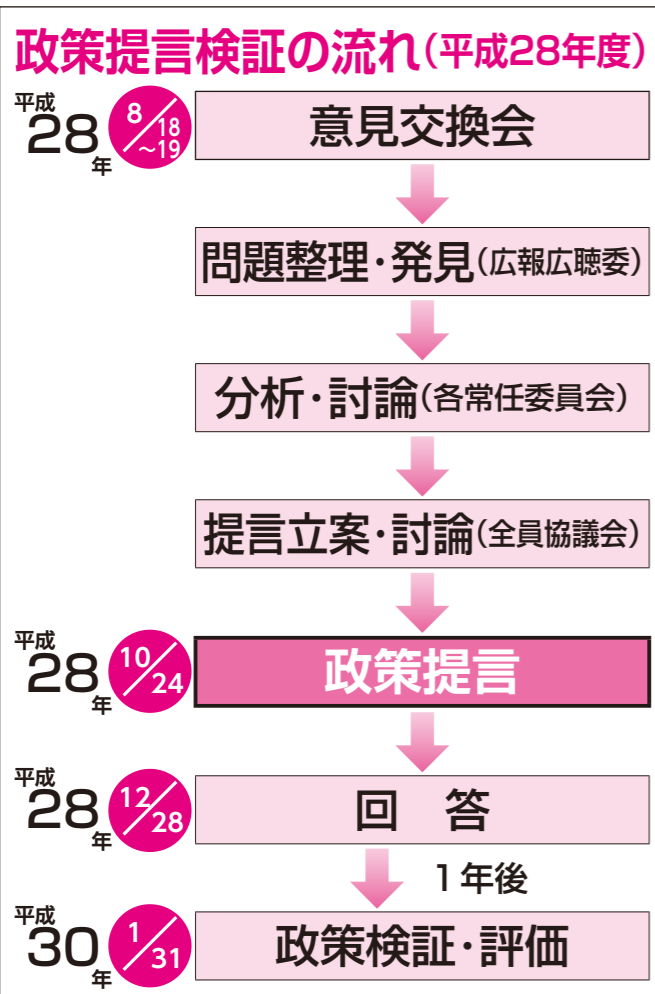
① 若者の住環境（住居、除雪、娯楽、公園等）の整備を図ること。③ 高齢者と若者のバランスのとれた共創のまちづくりに取り組むこと

―はC評価となった。住宅建設支援は予定どおり進んだものと思われる。さらに公園、娯楽、除雪等のニーズを見定め、より効果的

な住環境の整備を望むが、相対的な必要性を生み出せるのが課題となる。対応を望む。② SNSの活用による、子育て支援、福祉情報

（電子版町報）の発信を図ること―はB評価となった。町の公式SNSとしてフェイスブックが運用開始され、町報、ホ

ムページと併せて情報発信を充実したことは評価できる。今後SNSの活用は情報発信に欠かせない重要な手法であることを認識し、さらなる充実を期待する。



新たな町づくりを語る30歳の再会

新庁舎建設を 本格化

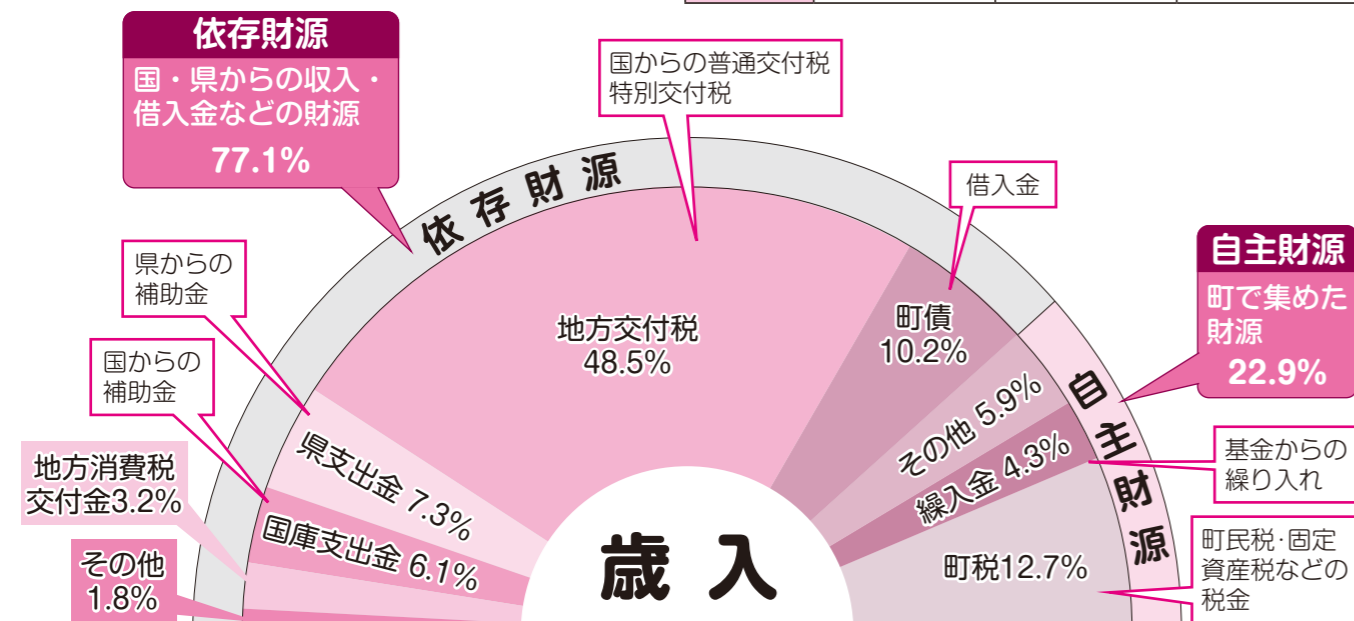
30年度予算
前年度比4.3%減

3月
定例会

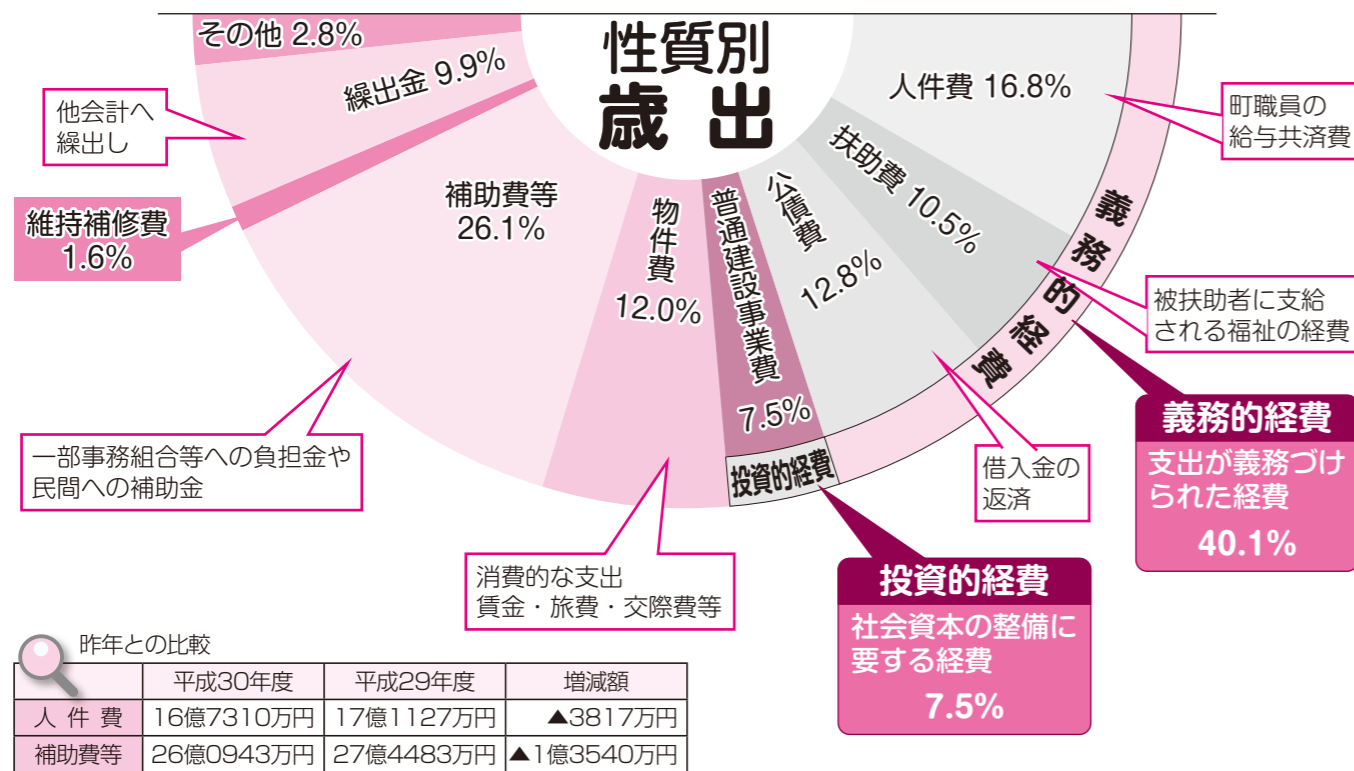
予算の内訳

昨年との比較

	平成30年度	平成29年度	増減額
地方交付税	48億4500万円	47億9000万円	5500万円
町債(借入金)	10億1640万円	12億9870万円	▲2億8230万円



一般会計 99億8800万円



昨年との比較

	平成30年度	平成29年度	増減額
人件費	16億7310万円	17億1127万円	▲3817万円
補助費等	26億0943万円	27億4483万円	▲1億3540万円

平成30年度一般会計予算の特徴

- 1、99億8800万円で前年度対比4.3%の減。4年ぶりに100億円を下回る
- 2、投資的経費は3億8313万円減の7億5405万円。借入金は10億1640万円
- 3、主な事業は、新庁舎整備、メディカルタウン整備、虚空蔵山西線道路整備など

平成30年度の一般会計予算の総額は99億8800万円で、前年度対比4.3%減。4年ぶりに100億円を下回った。

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

町長は施政方針で、「平成30～32年度は新庁舎整備が最大のプロジェクトとなる。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付けるメディカルタウン構想の具現化

3月定例会のあらまし

3月定例会が3月6日から23日まで18日間の会期で開催された。

第1日目に、人事4件を審議した後、条例等13件の審査を常任委員会に付託。29年度補正予算3件、30年度予算7件の審査を予算特別委員会にそれぞれ付託した。

第2・3日目に一般質問を行い、7議員が福祉行政などをとりあげ、町政をたじた。

第4日目を以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査した。

最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した23議案を原案通り可決した。追加の補正予算、定数条例の改正を可決、請願1件を採択、意見書1件を可決した後、閉会中の事務調査を許可して、閉会した。

なお、今期定例会の傍聴者は6人だった。

免許証返納に特典 空き家の取りこわしに助成

自主・自立に向けた行財政システムの確立を目指し、取り組みを強化する」としている。

議会 財政を注視

町民からは財政運営は大丈夫かという懸念の声もある。新庁舎建設、現庁舎跡地整備、メディカルタウン整備等大型事業が続くので、納得のいく説明をすることが重要となる。



早期完成に期待

虚空蔵山西線は全長1420メートル。国の社会資本整備総合交付金（補助率3分の2）が修繕や補強に多く支出されており、新規の道路整備には交付金が付きにくくなっている。完成は平成35年頃を予定している。

4314万円

虚空蔵山西線道路改良



梨郷道路川西IC付近

メディカルタウン整備事業は、公立置賜総合病院周辺の都市機能の整備、定住人口の創出と交流人口の拡大を目的に行われる。今年度は民間事業者の誘致を図り、各事業者における計画等の調整を行い、全体計画を作成する。併せて農振除外、農地転用の事前相談を行う。また、デザイン会議を設置し、まちなみデザインのガイドラインを作成する。梨郷道路川西インターチェンジの供用開始を平成31年度内に想定しており、その後農振除外、農地転用が行われ、土地造成が進められる。

608万円

メディカルタウン整備



いよいよ測量作業開始

新庁舎整備には、国の「市町村役場機能緊急保全事業」により、財政支援が得られる。総事業費は36億1300万円を見込む。今年度は基本設計・実施設計、用地取得造成工事に取り組み。設計に町民の声を反映させる町民ワークショップを開催する。用地は山形おきたま農協本店南側の民有地を取得する。設計関係に1億850万円、土地取得、造成関係に2億2180万円を予定している。31年度に本体工事着手。外構工事も含め、完成は32年度。

3億3166万円

新庁舎整備



空き家管理も重要

危険空家等（保安上危険な建物、衛生上有害な建物、景観を損なっている、生活環境の保全のため放置することが不適切など）の所有者が実施する除却に対して、事業費の5分の4の補助（国が2分の1、町が10分の3、上限40万円）を行う。

52万円

空家対策



運転経歴証明書交付。返納時に申請(有料1000円)

運転免許の自主的な返納を行った人に、移動手段の確保と公共交通の利用促進を図るため、タクシー乗車券、バス回数券、山形鉄道利用券、JR回数券、町商業協同組合商品券のいずれかを2万円分（1回限り）支援する。4月1日以降、要申請。

80万円



免許証返納推進

私もひとごと

免許証返納 長期的な支援を

小松地区 松田修一郎 さん

自動車関連の仕事柄、毎日運転は必要です。

まだまだ運転には自信がありますが、いずれ年齢的なものや体調を崩したときは運転に不安も出てくるでしょう。返納時のこの補助事業は、ありがたいですね。

ただ、返納後の買い物などを考えれば、長期的な支援が必要だと思います。事業のさらなる充実をお願いします。



メディカルタウンに望むこと

大塚地区 平 沙苗 さん

私がメディカルタウンに望むことは、子どもが3人いますので、冬でも遊べる屋内施設が欲しいと思っています。また定住に必要なスーパーは欠かせないと思います。子育てに必要な小児科医も欲しいと思っています。これから計画を進めていくうえで、ワークショップを十分に取り入れながら作り上げていただきたいと思っています。



景観を守る空家対策を

吉島地区 淀野 貞彦 さん

幼い頃から見慣れた風景に、空き家や風雪にさらされた廃屋が目立ちます。町を訪れる方に決して良い印象を与えていないし、周辺に住む者にとっては危険と隣り合わせです。

豊かな自然と田園風景で癒される時間を過ごす館、若い世帯の館として空き家が再利用されることを期待します。いつの時代も川西が桃源郷でありたいと思います。



新庁舎整備 楽しみ

中郡地区 寒河江千恵子 さん

いよいよ、新庁舎の建設が始まります。川西町が今後どのように発展していくのか大変楽しみです。庁舎は町のシンボルです。駐車場が広くなったり、さまざまな行政手続きがスムーズに行われることを期待します。また、現庁舎跡地も有効に活用し活性化に繋がるような計画もしていただきたいと思っています。



私もひとごと

30年度 予算

平成30年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	99億8800万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	16億4983万円	賛成多数により可決(反対1)
下水道事業特別会計	5億2119万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	8893万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	18億6983万円	賛成多数により可決(反対1)
後期高齢者医療特別会計	1億6908万円	賛成多数により可決(反対1)

企業会計	収入	支出	議決の内容
水道事業会計	収益的	5億2625万円	全員賛成により可決
	資本的	7520万円	

※資本的収支:不足する1億6205万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん

総括質疑

現庁舎跡地利用は総合的に検討せよ

遠藤

庁舎が現在地から移転することにより、小松駅西側の衰退が懸念されている。庁舎跡地利用は、本町の重要課題である。跡地利用においては、中央公民館の在り方、小松地区交流センター、診療所等を総合的に検討すべきでは。

遠藤 章一 議員

予想される実質単年度収支は

鈴木

平成30年度の予算案の概要の中で、「繰入金について、起債償還に伴う公債費(借入返済金)の増などによる財源不足を補てんするため、財政調整基金や町債管理基金等からの繰り入れを行ったものの、26.0%減の4億2427万円を計上した」とある。その上で、予想される平成29年度の「実質単年度収支」はいくら位とみるか。

鈴木清左衛門 議員

組織機構を見直すのか

橋本

施政方針の中で「新庁舎建設に伴い後年度負担の増加と社会保障費などの義務的経費が増え財政が硬化化する。新庁舎における組織機構の見直しと併せ、新たな行政改革を検討する」とある。現在の組織機構を見直すのか。

橋本 欣一 議員

新庁舎、見込み額を重視せよ

佐々木

新庁舎整備は基本設計・実施設計に入っているが、これまで事業が進むにつれ事業費が増えていく例があった。見込み額には消費税アップ分や、資材、人件費の増も見込んでいる。最終的にこの額を上回らないようにすべきだ。

佐々木 賢一 議員

町長に聞く

分科会の予算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた



今後活性化に向けた跡地利用の協議がなされる

跡地利用 町民の理解を得て進めよ

問 現役場庁舎跡地利用及び東沢小・高山小の後利用について町はどのように考えているか。

町長 現庁舎の跡地利用については、現時点において耐震性を満たしていない役場庁舎および中央公民館を除却した上で、小松地区交流センター機能等を含めて複合的

な利用を図る方向で議論を進める。利活用の検討にあたっては、平成30年度当初予算に、庁舎跡地利用の協議、検討を進めるための予算を措置した。具体的には、庁舎内部に町民や関係団体の声を反映する検討組織を設置する。中心市街地の活性化を踏まえ跡地利用の在り方について意見をいただく。

意 現庁舎跡地および両小学校の後利用にあたっては、町民の意見を把握し、町全体の課題や将来を見据えた中で町民の理解を得て進めること。

中央道開通 観光に生かせ

問 昨年11月4日に東北中央自動車道福島米沢間が開通したが、町への観光誘客にどう生かすのか。

町長 東北中央自動車道の開通を機に、観光客の拡大を図る必要がある。そのためには、福島県や北関東、埼玉県などへのアプローチが重要であるので、同エリアへのポスター、パンフレットの重点配布、マスコ



誘客のランドマークに 道の駅「米沢」

ミ媒体やSNS等を利用した誘客宣伝活動を行う。本町の観光は、川西ダリヤ園・浴浴センターなどが中心である。新たな観光施設となる「かわにしダリヤパークゴルフ場」は、県内外から大きな注目をいただいている。より広範な地域から来場いただくよう、施設運営者と共にイベントの開催やPR活動を行う。ま

た、東北中央自動車道インターチェンジから本町までの交通アクセスに課題があるので、国道287号バイパスが早期に完成するよう整備促進の要望活動に努める。

意

山形おきたま観光協議会や関係団体と連携しPR活動の強化を図るとともに、町内の観光資源を有効に活用し誘客に努めること。

総務文教
第1分科会

本間喜一顕彰基金

寄付者の意志を大切に

問 本間喜一顕彰基金管理事業の内容は。

答 愛知大学創設者本間喜一顕彰会名誉会長の越智専氏からの寄付金600万円を積立て、愛知大学就学の支援や同大学との交流推進事業に充てる。

意見 長期的・継続的に実施すること重要であり、今後は町の自主財源の充当も念頭に、寄付者の意思を尊重した事業を展開すること。(P27参照)

問 運転免許証自主返納者への支援



故本間喜一氏・愛知大学東亜同文書院大学記念センター提供

意見 平成30年4月1日以降に運転免許証を自主返納した人を対象に、各公共交通機関の乗車券および町商業協同組合共通商品券のいずれか1点2万円相当分を、1度限り支給する。(P33参照)

問 返納者への支援

意見 事業を広く周知するとともに、支援内容の改善について検討すること。
問 一般廃棄物収集運搬を週2回にできないか。
答 週2回の収集に週2回の収集に向けて、事業者と協議中である。週2回の収集は、町民からの要望が多いことから、早期に実現すること。

問 冬期間の消防水利の管理・確保は大丈夫か。

答 火災発生時に適正に使用できるよう自治会・消防団と連携し管理している。道路除雪時に防火水槽や消火栓を配慮し適正に管理・確保すること。

問 外国語指導助手の増員の理由は、

答 32年度より小学校5年生から英語が教科化される。移行期間も踏まえ、英語教育の環境を充実させるとともに、学力向上を目指し、1名を増員し2名体制とする。

意見 30年度は吉島小学校の屋根改修工事を行う。今後施設の維持管理については、計画的な補修等により、大規模改修が必要とならないような管理を行うこと。
問 中学校スクールバス運行管理経費の内容は。
答 老朽化したバス1台を更新する。中学校開校7年を経過することから、生徒数、居住地等を考慮し、乗車範囲や運行経路の見直しを行うこと。
問 下小松古墳群の保存・管理はどうか。
答 里山と下小松古墳群を守る会によって環境整備に努めていただいている。
意見 今後の保存・利活用の在り方を明確にすること。

ふるさとづくり寄付金の状況

年度	件数	寄付金額
20	5	16万円
21	11	38万5千円
22	12	39万5千円
23	8	86万円
24	16	74万6千円
25	186	282万8千円
26	541	661万9千円
27	396	574万1千円
28	2043	5820万8千円
29	2433	7162万6千円

※29年度は3月29日現在

問 ふるさとづくり基金管理事業の成果は。

答 ふるさと納税の額は、平成29年度において前年比125%の伸びである。30年度においても一層の寄付の増額を目指し、積極的なPRと返礼品の充実を継続すること。

問 健康元気づくり事業の内容は。

答 健康体力づくり協議会において、町民全体の健康づくり事業について審議いただき、意見・助言を反映させながら事業および健康推進事業を実施している。

問 鳥獣被害防止対策は充分か。

答 鳥獣被害防止協議会・猟友会への支援等により、被害防止に努めている。両会および地区とも連携を図り

意見 畜産振興拠点施設である当放牧場への各種支援を充実させること。
問 広域観光イベント事業や観光資源活用事業に期待したいか。
答 今年春に「道の駅米沢」がオープンする。さまざまな手法を用いて本町へ誘客する。

意見 見やすく魅力的なパンフレット等の制作に努めるとともに、効果的な案内看板を配置し多くの観光客を呼び込む取り組みを進めること。
問 森林病虫害防除事業の内容は。
答 県補助金を活用し、松くい虫およびナラ枯れの被害を防止する。

意見 下小松古墳群や川西ダリア園周辺の景観を維持するために、被害拡大防止に向け、関係機関と連携し事業を実施すること。
問 介護保険事業特別会計の一般介護予防事業の内容は。
答 「いきいき100歳体操」は、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが協力し推進しており、現在20団体が週1回集まり取り組んでいる。

問 玉庭放牧場活用支援事業の内



ダリヤの栽培講習・球根販売 — 森のマルシェで

ふるさと納税
PRと返礼品の
さらなる充実を

産業厚生
第2
分科会

太陽光発電計画のその後は

町長 — 実行されず白紙に

淀 サンマリーナ玉庭ゴルフ場跡地に、平成26年太陽光発電事業計画が、ドイツのフォトボルト社により計画された。すでに地権者との契約が済み、約120ヘクタールに210億円をかけ、発電のパネルを設置する計画になっていた。

町長 しかし、工事は進んでいない。その後の事業の進み具合は、説明会を開催した際の意向は受けた。

しかし、その後の具体的な事業内容の説明、計画の提出には至っていない。

淀 太陽光発電事業には地元の期待もあった。東北電力との関係が思わしくないとのうわさも出ていたが、なにか理由になっているのか。

町長 東北電力との関係が問題ではない。国の再生エネルギー固定価格買取制度が29年度から新制度に変わり、事業化が困難な状況にあることだ。

淀 この事業は暗礁に乗り上げたのか。

町長 フォトボルト社のその後の動きはなく、結局は計画が

実行されず白紙の状態になっている。

虫歯予防にフッ化物効果は

淀 川西町の小中学校では、平成5年から虫歯予防の一環として歯にフッ素を塗るフッ化物洗口事業が始まった。フッ素は歯の再石灰などの虫歯予防に効果があるとされている。しかし、フッ素そのものは猛毒とも言われ、相当に薄める作業が必要のようなが生徒に何か問題は起きなかつたか。

町長 フッ化物洗口を希望しない場合

はそれによる差別や偏見が生じないように、水で洗口するなどの配慮のもと実施し、問題は起きていない。

淀 置賜地区3市5町の中で、川西町の学校が一番遅いフッ化物洗口休止であったが。

町長 フッ化物洗口液は劇薬ではなく、各施設においても事故もなかった。教員の負担も大きいとの意見もあり、休止した。

淀 虫歯は口腔内の細菌の発酵作用によって、植物のカス

から作られた乳酸が歯の硬組織を侵すとある。

町長 27年では、町の小学生の虫歯は147人。調査資料では、平成5年より激減し、県の平均より低い数値になっている。

淀 フッ化物洗口を休止後、虫歯予防対策は何かしているか。

町長 歯科医師の助言等を通じた歯の健康づくりへと転換を図っている。また、歯科衛生士による歯科保健衛生教室を開催している。



淀 秀夫 議員



環境に優しい太陽光発電

一般質問

7 人の議員が一般質問

定例会第2、3日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問した。通告順（発言順）に掲載する。

19 ^P	淀 秀夫 議員 1 太陽光発電のその後は 2 虫歯予防にフッ化物効果は
20 ^P	伊藤 進 議員 1 高齢者の1人暮らしの介護は 2 種子法廃止の見解
21 ^P	鈴木 幸廣 議員 1 各地区からの要望について 2 ドローンの利活用について
22 ^P	神村 建二 議員 1 部活動のあり方は正常か 2 中学校の制服調達は正常か 3 本町におけるストレスチェックの現況は 4 雪対策の改善策を問う
23 ^P	伊藤 寿郎 議員 1 若者に居場所を提供できる商店街について 2 公共施設の再生とまちづくりについて
24 ^P	橋本 欣一 議員 1 生活保護基準の引き下げの影響について 2 介護職員の現状と養成について
25 ^P	鈴木清左衛門 議員 1 川西町の財政運営 2 産業振興と観光の展開

白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。

(<http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>)

ここが聞きたい！

町政をただす

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。

また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。

質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

ドローンを有効活用せよ

町長 — 事業者の協力を得て対応する

鈴木 災害時の情報収集には、二次災害の防止の観点からドローンでの画像・映像が有効と考えるが導入配備を検討してはどうか。

町長 昨年実施された緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練の際、ドローンを活用した災害状況の早期把握や監視機能・救助活動の基本データ取得など、ドローンの積極的活用がうたわれている。このような中、導入配備には機器の導入経費や知識・航空法を十分理解した上で操作技能を身に着けた操

作員の配置が必要となる。現段階では、ドローンの事業者の協力を得て対応する。
鈴木 災害有事の際に、向業者との協定を結ぶべきではないか。

町長 置賜管内にも事業者がおられることから、今後話し合いを持ち、地域防災力の強化を目指す。
鈴木 町ホームページやフェイスブックでのPR動画でもドローンは有効と考えるがどうか。
町長 全国の自治体では戦略的広報が活発化しており、PR



災害情報調査にドローンの有効活用を

動画は手法の一つと必要性を認識している。普段、目にするのではない視点で美しい映像を撮影できるドローンの活用で「山形ふるさとCM大賞」への出品

一般質問

在宅介護

一人暮らし高齢者 在宅介護の対応は

町長 — 課題解決の協議会を設置



伊藤 進 議員

伊藤 国は施設における介護から在宅介護に移行させるといふことだが、一人暮らしになれば在宅介護は難しくなるのではないか。

町長 要支援要介護認定を受けた、在宅で一人暮らしの高齢者は現在69人である。これからも介護を必要とする方に寄り添い、住み慣れた自宅で可能な限り生活が出来る

よう支援していく。
伊藤 町全体の課題を解決する協議会を設置するとしているが、いつ頃の設置を目指しているのか。

町長 地域包括ケアシステムを進めるための協議会の設置で、町全体の課題を総合的に検討していく体制づくりを進めていきたい。協議会の立ち上げは、30年度中を目指している。

高齢者のシェアハウスについての考えはあるか。
伊藤 高齢者シェアハウスに対してどのような考えを持っているか。

町長 空き家対策、住宅対策、若者支援、および移住定住対策と併せて研究していきたいと考えている。
伊藤 住民からの相談、要望があった場合の窓口はどこか。

町長 トータルの高齢者のこれから生活ということ考えると、健康福祉課になる。
種子法廃止の見解は

伊藤 4月1日から種子法が廃止になる。本町に関わるものは水稲種子、種子大豆などだが、今後のような影響があるか、検討しているのか。

町長 県議会における県農林水産部長の答弁があった。種子法の廃止によって急に流通形態が変わるといふことは今のところ考えられないといった内容である。

伊藤 農家が不利益を被らない対策をしていくことが必要だ。何らかの影響があった場合、町ができることはあるのか。

町長 現行では県がしつかり種子を守り、生産者の皆さんの支えになっていくという方針である。そのことを踏まえ、我々もしつかり支えられるようにしていきたい。

伊藤 今後の推移を見守りながらさまざまな取り組んでもらいたい。

要望書をいただいた。内1地区から文書による回答を求められ文書で回答したが、他の5地区には要望形式により口頭で回答している。口頭回答の場合は、庁内のとりまとめに止めている。

鈴木 要望事業の進行状況は。
町長 要望内容を十分に調査し、できるだけ早期の対応に努めている。町全体の事業計画や、関係機関、団体との協議調整に時間を要するものもあり各地区の意向を踏まえ、早期実現に向け検討を継続していく。
鈴木 要望対策の予算措置は十分か。
町長 現地踏査等をもとに緊急性、必要性等優先度を判断し予算措置を行っている。ただし全ての要望に対応しきれない現状を理解してもらいたい。



鈴木幸廣 議員

鈴木 毎年各地区から要望があるが、町は文書で回答しているのか。口頭での回答は口約束にならないか。
町長 29年度については、6地区から

一般質問

部活動

中学教員の部活指導時間は正常か

教育長 ― 活動は一日2時間、日曜は休養日



神村建二 議員

神村 中学校教員の部活動指導は長時間になっていないか。

教員 川西中学校では指導体制として、生徒指導部内に部活動指導係を置き、目標や方針に沿って指導に当たっている。活動時間は一日2時間以内で、日曜日は休養日として

いる。活動の基準である「山形県中学校長会部活動に関する申合せ事項」を順守している。

神村 スポーツ庁のガイドライン案「休養日を週2日以上設けること」を確実にクリアできるように努力したい。

教員 現在の制服については平成23年度の「新中学校開校準備委員会制服専門部会」において採用されたものである。男子、女子とも4万4千円台であり、近隣市町との比較においても標準的ととらえている。

神村 公立中学校の制服について、公正取引委員会が「全国的に割高で、より安価で良質な制服を購入できる対応を要望する」

と提言しているが、本町の現状はどうか。

神村 公正取引委員会の調査では「全国平均で男子3万3千

円、女子3万2千円で、どちらも割高になっている」と公表している。適正な価格に向けてなお一層の努力を望む。

神村 平成27年「改正労働安全衛生法」が施行されストレスチェック制度が導入されたが、当役場の現況はどうか。

教員 28年度から事業所として実施している。臨時・嘱託職員を含む全294人を対象とし、調査表に記入する方法で行い、検査の結果39人が高ストレス者と判定された。当該職員には産業医の面接指導を受けるように勧奨を行い、必要な場合人事異動の配慮や医療機関の受診勧奨を行っている。職場全体の分析も行い、総合健康リスクは全国平均より低い結果となっている。

神村 雪が降っても、本町に踏みこたどまれる生活環境を作っていくことを期待する。

町長 28年度から事業所として実施している。臨時・嘱託職員を含む全294人を対象とし、調査表に記入する方法で行い、検査の結果39人が高ストレス者と判定された。当該職員には産業医の面接指導を受けるように勧奨を行い、必要な場合人事異動の配慮や医療機関の受診勧奨を行っている。職場全体の分析も行い、総合健康リスクは全国平均より低い結果となっている。

神村 本町の除排雪の改善策について問う。

町長 高齢者世帯への除雪補助員の派遣、費用の一部を助成する雪下ろし援助事業、除雪アダプト推進事業、地域一斉除排雪等推進事業等がある。

神村 雪が降っても、本町に踏みこたどまれる生活環境を作っていくことを期待する。



充実した学校生活の一環・部活動で活躍する川中生徒

若者に居場所を提供できる策はあるか

町長 ― 創業支援事業を展開していく

伊藤 1月27日・28日移住体験ツアー

「山形かわにしで学ぶ大人のインターシッブ」が開催された。実際に住むところや開業したところを観てもらった。空き家や空き店舗を借りている移住者や開業者を訪ねて体験等を聞く斬新な取り組みが行われた。移住者増加を今後どのように展開するか。

町長 川西町に移住や起業する場合のイメージが具体的に分かる内容で、好評が得られた。町在住者との意見交換の場面を多く設け、もう一度ツアーに参加してみたいと感じていただくものにしていきたい。

伊藤 近年20代から30代の若者層の地方移住が、僅かではあるが増加傾向を見せている。コミュニティを主要な場とする「コミュニティビジネス」「ソーシャルビジネス」という新しいビジネスが普及しつつあると聞く。若者たちが商店街でさまざまなビジネスを興すためにどのような支援を考えるか。

町長 協働のまちづくりの実現に向けて大変重要と認識している。「創業支援事業計画」に基づき展開をし、ワンストップ相談窓口

伊藤 公共施設は、まちづくりの拠点として、地域によっては公民館や学校がまちづくりの拠点になっているところも多い。公共施設の再生をまちづくりの一環ととらえているか。

町長 交流センターや学校がまちづくりの拠点となり、公共

の設置、支援事業者による個別相談の実施、創業セミナーの開催、創業に係る経費の一部を助成するなどの支援を行う。

伊藤 次世代が良質な資産を引き継げるか。

町長 少子高齢化や人口減少等により、公共施設の利用需要の変化や求められる機能

その他 「持続可能な行財政運営を図れるか」「公共施設やそのマネジメントを住民に分かりやすく説明しているか」を質問した。



荒天の中での取り組みとなった移住体験ツアー

若者定住

一般質問

生活保護

生活保護基準の引き下げ影響は

町長 一町内において影響はない



橋本欣一 議員



医療と介護職の研修会(町開催)

については、交通機関の乏しい地方では欠かせないものと思う。国に対し強く要望すべきである。

介護職員の現状と養成補助は

町長 町内介護施設の入所定員総数は336人。現在の入所者数は332人、99パーセントの入所状況で、入所を控える施設はない。待機者は31人である。

橋本 全国的に介護職員の離職や転職により、特に施設職員の不足がいわれている。職員不足により入所を控える施設もあると聞

くが町内の施設の現状

また、介護職員を養成するため、進学する際の奨学金等の創設も必要ではないか。

町長 町内介護施設の

入所定員総数は336人。現在の入所者数は332人、99パーセントの入所状況で、入所を控える施設はない。待機者は31人である。

介護事業所の職員充足率は100から17

5パーセントとなっており、定員不足の事業所はない。従って、必要な介護サービスをおろそかにしている実態もない。職員の離職・病欠・研修参加等の対応のため随時職員募集を行っている。

介護職員の養成については、町独自の研修を実施しており、さらに、国・県と連携した奨学金・補助制度を検討していく。

水道使用料の変更はあるのか

町長 一当分、現行料金を維持する



置賜の水がめ網木川ダム

鈴木

川西町公共施設等総合管理計画には「上水道管の標準耐用年数は40年とされ

ているが、本町では予防保全型管理を実施することで耐用年数を10年延長し、50年と定め

ている。この場合、1965年以前の施設が更新時期を迎えることになる」とある。また、上水道管の総延長が23万6553mで、今後毎年更新が進められることになる。また、上水道施設では「本町の水道は1970年代後半から1980年代前半に整備した施設が多く、耐用年数を50年とすると2020年代後半から一斉に更新時期を迎える」とあるが、一般会計からの繰り出しにはどう影響を及ぼすのか。水道使用料の変更はあるのか。

また、計画の中には「PPP/PFIの活用を検討する」とあるが、その中に上水道は含まれるのか。

町長 膨大な整備量、および経費を要することから緊急的、局所的な改修にならざるを得ない。一般会計からの繰り入れは財政状況を踏まえ年度間調整を行い判断する。水道料金については、当分の間、改定は行わず現行料金を維持する。

鈴木

スペインのバスク地方にある人口18万人のサンセバスチャンは、10年前までは特色もない街であったが、今ではミシュランの星付レストランが多く集まる美食の都

として、世界から観光客が集まる。これは千葉県いすみ市が美食の街を目指す「サンセバスチャン化計画」の冒頭部分であるが、本町でもトライできないか。また、ダリヤ園であるが、昨年の8月20日にレンオークメイトさんが川西ダリヤ園を訪ねて「デザインの再考」を提案された。来園者に、どよめきを生み出すアイデアが必要である。10万人集客計画、そして50万人集客計画の策定ができないか。

その他

「公共施設の維持管理と今後」「下水道事業の企業会計」「産業振興の現状認識と展望」を質問した。

町長

本町の総観光客数は平成28年度で36万人である。関係機関と連携しながら取り組む。

29年度 補正予算

3年ぶりの大雪



除雪費大幅増額



低温続きで積雪量も多く除雪フル稼働

除雪費については、適正に措置してきたがこの冬の豪雪、低温により積雪量が多くなった。このため、冬季交通確保事業として、6280万円の補正予算を追加した。財源については財政調整基金より繰入金5094万円、除雪負担金の1185万円を充てる。

現段階での除雪予算総額は3億2354万円となっている。

本町の町道延長は532.06kmに対し、歩道除雪や消雪道路を含め285.7kmで53.7%の除雪率を確保している。また、今年は低温が長引き融雪も進まないため道路脇に堆

積した雪も排雪しなればならない状況も発生している。

本町内においては、除雪中の事故による人的被害をはじめ、建物や農業施設等に多くの被害が発生している。豪雪地帯に暮らす住民にとつて、雪対策の充実は重要な課題と捉えている。

かわにし未来ビジョンで「総合的な雪対策」を施策に掲げ、冬期間の安全で便利な生活ができるように、道路の除排雪対策をはじめ高齢者への除雪支援などの総合的な雪対策を充実し、町と町民が一体となった雪に強いまちづくりを進める。



表紙の写真

巣立ちのとき

大雪の割に雪解けが早く、季節のめぐりが早かったこの春。いつものように旅立ちと出会の季節がやってきました。

中学校の制服に身を包み、昨日までの児童から生徒に変わり、お世話になった学校からの巣立ちです。卒業式では涙顔でしたが、式が終われば笑顔の送別です。

中学校が一枚になり、町内一円からの仲間との出会いに期待がふくらみます。吉島小学校の卒業式の一コマです。

平成29年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第10号)	110億7204万円 (3億378万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第11号)	111億4252万円 (7048万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第2号)	20億6850万円 (3348万円を減額補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第2号)	1億7222万円 (564万円を追加補正)	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第10、11号)の主な内容

(歳出)		
第10号	教育・保育施設給付事業 過年度給付返還金	876万円
	一般廃棄物収集運搬事業 負担金	▼699万円
	老人施設保護措置事業 扶助費	▼990万円
	担い手確保・経営強化支援事業 補助金	6152万円
	中山間地域所得向上支援対策事業 補助金	1億5850万円
	農業競争力強化基盤整備事業 4地区分 負担金	8280万円
	ため池総合整備事業 3カ所分 負担金	1313万円
	本間喜一顕彰基金管理事業 積立金	600万円
第11号	冬季交通確保事業	6280万円
	ふるさとづくり基金管理事業	250万円
(歳入)		
第10号	地域生活支援事業費国庫負担金	164万円
	担い手確保・経営強化支援事業費県補助金	6152万円
	中山間地域所得向上支援対策事業費県補助金	1億5850万円
	農業生産基盤整備事業債	7640万円
	まちづくり費寄付金	600万円
第11号	ふるさとづくり寄付金	500万円
	財政調整基金繰入金	5096万円
	除雪費負担金	1185万円

本間喜一顕彰基金

愛知大学の創設者である本間喜一氏(玉庭出身)を顕彰する「本間喜一顕彰会」の名誉会長の越智専氏(愛知県豊橋市在住)より、愛知大学への就学支援、同校との交流促進等に

資することを目的に寄付金600万円を頂き、基金を設置する。

この基金を活用し置賜地域の高校生が愛知大学への就学に寄与する他、同大学の学生が本町を訪れた際の交流事業の経費や本間喜一氏顕彰に係る事業の経費として充てられる。

枝豆・アスパラガス選果場

中山間地域所得向上支援対策事業として、国の平成29年度補正予算により取り組まれる。全国農業協同組合連合会山形支部が実施主体となり、旧大塚ライオンセンター跡地に枝豆

とアスパラガスの選果機やパッケージングスペース、予冷庫を備えた「県南園芸ステーション」の整備を支援する。(事業費の2分の1) 置賜地域の園芸作物産地の推進、所得の向上が期待される。(左下主な質疑参照)

国の補正予算(第1号)による事業

担い手確保・経営強化支援事業	6152万円
中山間地域所得向上支援対策事業(選果場整備)	1億5850万円
農業競争力強化基盤整備事業 4地区分	8280万円
ため池総合整備事業 3カ所分	1313万円

主な質疑

問 本間喜一顕彰基金管理事業の内

容は。 本間喜一顕彰会名誉会長・越智専氏からの寄付金600万円を積み立て、愛知大学への就学支援、同大学との交流事業、本間喜一氏顕彰に係る事業を行う。

意 長期的、継続的に実施することが重要であり、寄付金のほか町の自主財源の充当も念頭に入れ、寄

付者の意思を尊重した事業を展開すること。

問 中山間地域所得向上支援対策事業の内容は。

国の補正予算を活用した平成31年度稼働予定の県南園芸ステーション整備に係る全額繰越明許による追加補正である。

収益性の高い枝豆、アスパラガスの生産振興及び販売支援での生産者の所得向上を目指す。

※繰越明許 予算を次年度に繰越して事業を完成させること。議会の承認が必要。

条例

介護保険料

標準 月額 5900円に

月500円引き上げ

介護保険法の改正並びに高齢者保健福祉計画（第8次）川西町介護保険事業計画（第7期）の策定に伴い、条例の一部を改正するもの。保険料は国の基準9段階設定で第5段階を標準。所得に応じて個別に設定する。

介護保険法の改正により、保険運営協議会委員をよって第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画が策定された。各種委員会との連携を強化するため、介護保険者保険料については、



百歳体操で体も心も元気 - 川西診療所

紙おむつ購入費の支援を、地域支援事業から市町村特別給付事業へ移行する。支給限度額は3500円。1割を利用者負担とする。罰則規定の範囲を、第2号被保険者及びその配偶者や世帯主まで拡大する。平成30年4月1日より施行する。

賛成多数により可決 (反対1人)

川西町介護保険料比較

平成30~32年度(第7期)		
段階	割合	保険料
1	0.5	2950円
2	0.75	4425円
3	0.75	4425円
4	0.9	5310円
5	1	5900円
6	1.2	7080円
7	1.3	7670円
8	1.5	8850円
9	1.7	10030円

置賜3市5町の介護保険料基準額比較

	第5期	第6期	第7期	6期と7期の差額
川西町	4200円	5400円	5900円	500円
米沢市	5225円	5750円	5750円	0円
南陽市	4700円	5400円	6400円	1000円
高島町	4700円	5300円	5900円	600円
長井市	4617円	5640円	5980円	340円
小国町	4625円	5311円	5890円	579円
白鷹町	4381円	5148円	5850円	702円
飯豊町	5290円	6895円	6850円	▲45円

条例などの審査

条例	条例の主な内容	審査の結果
議会の議決すべき事件を定める条例の制定	定住自立圏形成協定の締結を議決すべきとする	全員賛成で可決
個人情報保護条例の一部改正	病歴等の個人情報を要配慮とする	全員賛成で可決
本間喜一基金条例の制定	顕彰会名誉会長からの寄付金を基金とする	全員賛成で可決
国民健康保険税条例の一部改正	県を保険者に加え、固定資産割を廃止	全員賛成で可決
指定介護予防支援等基準の一部改正	国の基準改正により、サービス利用者の紹介を追加	全員賛成で可決
指定地域密着型サービス事業基準等の一部改正	国の基準改正により、身体的拘束等の適正化を追加	全員賛成で可決
指定居宅介護等の事業基準を定める条例制定	ケアマネジャーの業務が県から市町村へ移行	全員賛成で可決
国民健康保険条例等の一部改正	保険者が県と市町村になることによる改正	全員賛成で可決
肥育素牛導入資金貸付条例の一部改正	貸付頭数が規模により同一年内8頭から15頭に	全員賛成で可決
都市公園条例の一部改正	運動施設面積が公園の100分の50以内	全員賛成で可決
字の区域及び名称の変更について	国土調査法の事業により字界を変更	全員賛成で可決
町道路線の認定について	県道南陽川西線の一部を町道に	全員賛成で可決
議会議員定数条例の一部改正	現定数15人から1人を減じ14人に	賛成多数で可決 (反対2人)

請願 このように審査しました

請願名	請願者・紹介議員	主な内容	所管	審査結果	本会議
慎重な憲法論議を求める請願	東置賜地区平和センター 議長 金子 満博 紹介議員 神村 建二 齊藤 智志	憲法審査会の審査においては、憲法条文の運用の実態に関する調査を優先し、憲法改正原案の拙速な審査を行わないことの見書提出を求める請願。	総務文教常任委員会	賛成少数で否決	賛成多数で可決 (賛成7人 反対6人)

意見書 憲法改正 慎重な審査を

安倍晋三首相は、通常国会の施政方針演説で「憲法審査会において、議論を深め、前に進めて行くことを期待する」として、早期の憲法改正を目指す意思を明確にしたことから、憲法改正の動きが現実味を増している。一方、多くの世論調査で憲法改正を求める意見は減少傾向にあり、憲法改正が喫緊の国民的要求課題とは言えない。憲法改正はその趣旨から歴史的で国民的の大事業となることから、慎重な憲法論議を求めるものである。よって、憲法審査会の審査においては、憲法条文の運用の実態に関する調査を優先し、憲法改正原案の拙速な審査を行わないこと。

提出先 衆議院議長 参議院議長 他

賛成多数により可決 (反対6人)

人事

監査委員に

島貫氏を再任

監査委員の選任に同意

平成30年3月17日をもって任期満了となるため、引き続き同氏を委員として選任するため提案された。



●島貫憲明(再任)洲島

米沢平野土地改良区に勤務。事務局長を経て平成21年3月退職。22年3月から現職。

全員賛成により同意

固定資産評価審査委員会委員

平成30年3月31日をもって任期満了となるため引き続き同氏を委員とするため提案された。

●横山昇(再任)小松

全員賛成により同意

人権擁護委員の推薦

●金田照子(新任)中小松

法務大臣より推薦の依頼があったので議会へ諮問の提案がなされた。

全員賛成により同意

松川堰組合議会議員の選任

●齋藤修一(新任)吉田

松川堰組合同規約・規定により同組合管理者から選挙について告知があったので、組合議会議員を選出する。

全員賛成により同意

3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議員名	伊藤 寿郎	伊藤 進	鈴木 幸廣	鈴木清左衛門	神村 建二	橋本 欣一	齊藤 智志	(欠員)	淀 秀夫	齋藤 修一	高梨 勇吉	金子 一郎	佐々木賢一	遠藤 章一	加藤 俊一
議第22号 介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第8号 平成30年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第11号 平成30年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第12号 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
発議第1号 議会議員の定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○		○	×	○	○	○	○	
請願第1号 慎重な憲法論議を求める請願	×	○	○	○	○	○	○		×	×	○	×	×	×	
発議第3号 慎重な憲法論議を求める意見書の提出	×	○	○	○	○	○	○		×	×	○	×	×	×	

町提案26議案、諮問1議案、選出1、請願1議案、発議3議案上記以外は出席者全員賛成。○は賛成、×は反対。議長は賛否に加わらない。

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

平成29年10月から平成30年3月まで

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
10月	3	28,000	東北中央自動車道開通祝賀会他	2月	4	23,004	議員研修会講師謝礼他
11月	0	-		3月	3	15,000	葬儀香典他
12月	2	10,500	置賜地区行政懇談会懇親会他	下半期合計		96,504	
1月	3	20,000	町建設業協会新年会他				

委員会 レポート

産業厚生常任委員会



平成16年から操業のミュキ精機川西工場

総務文教常任委員会



楽しく遊べる、子育て支援センター「こあら」

はばたく誘致企業 発展を期待

協同薬品、ミュキ精機の現地調査
1月24日大雪の中、町内の誘致企業である、西大塚の「協同薬品工業株式会社」と、尾長島工業団地にある「ミュキ精機株式会社」の現地調査を行った。「協同薬品」は、昭和21年「農家組合員の健康づくりを支える」ことを願いとして創業

した。昭和26年に農協組織の配置販売方式開始による生産メーカーの指定を受けて以来、クミアイ家庭薬の開発・製造に取り組んでいる。平成8年に西大塚地内に山形工場を建設した。先進的なラインで、50品目以上の医薬品が製造されている。「ミュキ精機」は、昭和43年田村電機の協

業会社として創立された。昭和35年に天皇皇后両陛下が、田村電機を行幸啓されたことにちなみ、子会社名を「ミュキ」とした。平成16年に川西工場が操業開始し、レーザー加工LED導光板作製や光・メカトロ関連アミューズメント機器等を製造している。両社の発展を期待したい。

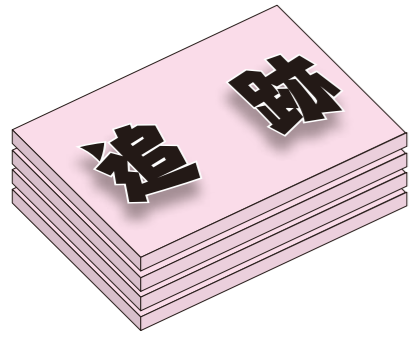
不安解消 充実した子育て支援

子育て支援センターを視察
2月13日に、子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種支援について町当局の説明を受けた。

地域子育て支援は9事業ほど行われており、病児保育事業については、小児科医が隣接する保育所に併設された病児保育室であること

から保護者の信頼感が高く、広域的な利用につながっているということである。そのあと、吉島地区にある「川西子育て支援センター」(旧吉島幼稚園)の視察を行った。地域子育て支援拠点には5つの事業内容があり、支援センターでは7項目の事業を行っている。子育てをしている親と子ども

の交流等を促進する拠点として、機能の充実を図り、子育ての不安を緩和し、子どもの健全な育ちを促進することを目的に運営されている。特に「みんなの広場」として、子育て家族の交流の場の提供等(自由来所)、子育て家庭に寄り添った事業が展開され、安心安全な子育てとなっている。



あれから…… どうなった！

運転免許自主返納サポート事業（置賜圏内）

市町村	内容	金額、円(相当)
川西町	タクシー共通乗車券、山交バス回数券、長井線利用券、JR回数乗車券、川西町商業組合商品券のいずれか1つ	2万円
米沢市	市民バスの乗車券か乗り合いタクシー回数券	6千円
南陽市	タクシー利用券、各バス回数券、長井線利用券、ハイジアパーク商品券	1万円
長井市	市営バス利用券(100円兼5枚つづり10冊)	1万5千円
高畠町	デマンドタクシー利用料金割引(500円を100円～200円割引)	
白鷹町	デマンドタクシー回数券(11,000円分)及びデマンドタクシーの運賃200円割引	1万1千円
飯豊町	デマンドタクシー利用券	1万2千円

高齢者

運転免許証の自主返納を支援 運転に不安な方に朗報

30年度から、ようやく自動車運転免許証自主返納者に対する支援制度が始まる。近年の高齢者の自動車の誤操作による事故もことから、運転に不安のある方の免許証返納に対して、言わば代替となる交通機関利用の支援である。

平成28年12月議会の一般質問で、高齢者の自動車事故の防止と対策、自主返納促進と交通手段の補助の質問があった。

交通事故の状況は、高齢者の事故は増えているわけではなく、横ばいであるとの答弁だった。川西町の直近のデータによれば、30年1月から3月までの交通事故全体では2件増加の20件で、昨年同時期と比べほぼ横ばいである。

体力的な衰えや病気に伴って運転に不安のある方の自主返納を勧めることは課題と捉えているとのことだった。

一方、自家用車に変わる交通機関としては、

JR米坂線、フラワー長井線、山交バス、タクシー、デマンド等の利用を勧めている。しかし、どれをとっても便が悪かったり、金銭的な負担が伴ったり、町外へは利用できなかったり、不便なものとなっている。

一番便利なデマンド利用でも、日常の買い物、診察などの際は予約して後日の利用となる。タクシーでは1割引の制度があるが、中・長距離では利用しにくい。

30年度から始まる補助制度は

川西町の「運転免許証自主返納推進対策事業」は、4月1日以降

に運転免許証を自主返納した人を対象に、各公共交通機関の乗車券や川西町商業協同組合共通商品券のいずれか1つ、2万円相当分を1度限り支給するものである。議会からは支援の内容を複数選択制や1度限りでなく毎年支援すべきとの意見が出された。

公共交通機関の乏しい地方では、自家用車の利用は生活上必要不可欠である。自由に行動できなくなることで健康を損ねたり、日常の買い物などができなくなっている。運転に不安のある方の返納推進は当然だが、それに代わる諸制度の充実を研究してほしい。

ここが違う 川西町 議会改革

今後の掲載予定

第1回 予算特別委員会の常設化
第2回 政策提言と検証評価
第3回 政務活動費の領収書公開
第4回 情報の公開
第5回 議員定数
第6回 議会基本条例
第7回 条例の議員発議
第8回 通年議会

第5回 議員定数

議会では、平成29年6月定例会において、議長を除く議員全員で構成する議会活性化検討特別委員会（委員長遠藤章一 副議長）を設置し、議員定数等の調査研究を重ねてきた。このたび調査が終了し、報告書が提出された。

議会では、さらなる議会改革や議会活性化を目指すとともに町民の付託に応えるため、議員定数等について調査研究を行ってきた。

11月7日、11団体の代表者に出席を依頼し、議員定数や議員報酬について意見交換を行った。

議員定数については、現状維持、1減、2減といった意見があった。議員報酬については、現状維持、人材確保のため増額といった意見があった。

これまで小委員会8回、本委員会7回の会議を精力的に開催し、議員間の討論を経て、以下のような結論の報告がなされた。

一、議員定数について
現状維持や1〜2人の減等の意見があったが、今後の議会活動等を考慮すれば、大幅な減員は活性化に逆行する

のものであり、全国類似団体町の議員定数平均13・8人も勘案し、1人減の14人とする。

二、議員報酬について
議会活性化のために多くの議員立候補者が必要であり、報酬はそのための大きな要因となることから、町長に対して特別職報酬等審議会の開催を申し入れる。

三、公職選挙法改正の運動について
議員の立候補をしやすいにするために、公営選挙の拡大（選挙費用の公費助成）を市議会議員選挙並みとし、町村議会議長会等を通じ、運動を行う。

四、通年議会と反問権等の検討について
議会運営委員会で検討されているが引き続き検討を行う。

議員定数については、今期定例会最終日に、議員発議により条例の改正が行われ、次の一般選挙（31年4月）から14人となる。

シリーズ

議会改革

1議席減 議員定数を 14に

ここが違う 川西町議会



慎重な議論。時には熱い議論が交わされる

議会広報全国コンクール第2位

8年連続入賞



優秀賞を受賞した第129号

議会広報の編集技術向上と誌面内容の充実を目的として、毎年議会広報全国コンクールが開催されている。今年も、279紙が応募し、審査会を経て最優秀賞の埼玉県寄居町議会をはじめ、入選10紙のほか、表紙写真賞3紙、奨励賞8紙が選考され、表彰された。

「現状に満足しない編集意欲」

本町議会だよりは、第2位の優秀賞を受賞した。モニター、アドバイザーはじめ、町民とともに勝ち取った受賞と言える。「地方議会人」に掲載された総評には「全体第2位で優秀賞とな



広報モニターからひとこと④

上奥田 佐藤美由紀さん

より良い町づくりを私は、2年前の川西町誕生60周年記念事業「女性議会」に地区の推薦をいただき、総勢15人の女性議員のかたがたと、一般質問・関連質問を行うという貴重な体験をさせてくださいました。

一般質問は、質問内容と答弁がかみ合うよう

うに全文通告をすることになっており、私たちは町政に対し女性目線での質問をと、幾度も足を運び綿密に打ち合わせを行った。

当日、張り詰めた空気のなか、3委員会に分かれ、それぞれ質問を行い、町長・職員の方より答弁をいただいた。この経験が、より深く川西町を知るきっかけとなり、課題も見えてきたように思う。

この町に限らず少子化が進み、人口減少が止まらない。企業の誘致・子育て支援・高齢者の介護・地域の活性化等問題は山積みである。そのような問題を解決するためにも、議会の傍聴や議会だよりを熟読し、意見・要望などを町政に届けていかなければならないと思う。そして町は、老若男女問わず、いろいろな意見を取り入れ、より良い町づくりを行っていただきたい。



った川西町議会は、このコンクールでは言わずと知れた強豪です。平成22年度から昨年度まで7年連続で入選を重ね、うち26年度からは2年連続で最優秀賞に君臨しています。本年度は、惜しくも寄居町に次ぐ2位となりましたが、あくなき向上心は今年も健在で、議会活性化の取り組みを特集した新しいコンテンツの登場などからも分かる通り、現状に満足しない編集意欲が8年連続の受賞につながりました」とある。

町民に手にとって読んでもらえる議会だよりを目指し、今後もしらなる紙面の深化と進化を図っていきたい。



読まれる議会だより 編集委員

全員協議会

平成30年度予算の概要や法律改正による条例の改正等事業について、町長からの事前説明が行われた。また、置賜広域行政事務組合臨時会・定例会報告、置賜広域病院企業団議定会定例会報告が行われた。

町公共施設

個別施設計画を策定

3月20日 全員協議会

- 1、平成29年度川西町雪害低温の状況について
- 2、川西町公共施設個別施設計画等について
- 3、川西町空家等対策計画について

- 4、置賜広域行政事務組合議会臨時会及び定例会の概要報告
- 5、置賜広域病院企業団議定会定例会概要報告

2月19日 全員協議会

- 1、平成30年度予算概要について
- 2、川西町本間喜一顕彰基金条例(案)の概要



橋本欣一議員、遠藤章一議員、斉藤智志議員

置賜町村議会議長会表彰

2月16日置賜地方町村議会議長会定期総会において、議員在職10年以上となる方に自治功労賞がおくられ斉藤智志議員、遠藤章一議員、橋本欣一議員の3人が表彰されました。今後とも町政発展と町民生活向上に力を発揮して、議会活動、議員活動に邁進願います。おめでとうございます。

まちの未来が見える (3月定例会の傍聴者は6人)

議会傍聴においでください

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継
議会フェイスブックもご覧ください

次の定例会は6月

町民の声



◆ プロフィール ◆

遠藤 奈穂(えんどう なお)

山形市出身
家族 祖母、母、夫
長男、次男の6人家族
現在子育て奮闘中

吉島地区にお住まいの
遠藤奈穂さんに子育て
や町に望むことをお聞
きしました。

子供は宝。町から歓迎されていると感じる

川西町大好き 住めば都

勤務先の東京から川西町に嫁いで今年で3年目になります。1歳と0歳、年子の男の子が生まれました。

この町に住んでみて驚きと発見の連続です。例えば、旬の食べ物と景色。キュウリが柔らかく、特産の丸ナスの漬物は美味しい！主人と家庭菜園を楽しんでいます。

田んぼに水が入ると海のようになる景色や、黄金の稲の散歩道。冬の朝しか見られない霧氷や、白鳥が飛ぶ姿を窓から眺められるのは、田舎に住む醍醐味です。

四世代同居

よく同居は大変だねと言われますが、私は育児していて同居でよ

子どもは宝

家の前が県道なのですが、スピードを出し



100歳のおばあちゃんと一緒に・4世代元気に

かったと感じています。子どもが生まれたばかりで手がかかるので、ちよつと上の子を見ていてももらえるだけで心に余裕ができて、家事、育児に向き合えます。

近所の方々にもよくかまっていたら、子どももうれしそうですし、子どもの時にいろんな人とかかわること、思いやりのあるやさしい子に育ってほしいです。

すぎる車が多く、子どもの交通事故が心配です。今、路肩に歩道を作る工事をしていきますが、同時にスピード違反の取り締まりを厳しくしてほしいです。また冬場の歩道の除雪も課題です。

子どもは宝。子どもが生まれて、町から歓迎されていると感じました。オムツのゴミ袋や、お祝いの品もたくさん頂きました。とても役に立っています。ありがとうございます。

編集のあと

▼低温・大雪の冬が終った。記録的な気温。記録的な雪。からようやく解放され、桜の季節を迎えた▼近年は夏でも冬でも、想定外の異常気象が目につく▼本133号も想定外のポリウムとなり、編集にも一段と気合が入った▼季節の花、サクラは、何事もないように、今年も忘れずに咲いてくれる。ありがとう。(かみむら)

- 発行責任者 加藤 俊一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 伊藤 寿郎
- 委員 橋本 欣一
- 同 神村 建二
- 同 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- アドバイザー(写真) 平田 和雄
- 青木 督平
- 鴨 源一
- 齋藤 史郎